



図書館だより

令和 8 年10月
八尾高校図書館
21H 山崎・横江



星と夜

10 月になり夜が早く長くなってゆく季節になっていきました。星々もてんびん座やさそり座、ペガサス座の秋の四辺形が姿を表して来ました。さて今回はそんな星と夜に関するお話の紹介です。



『リリー星の贈り物』 虎谷愛子 里文出版

若くしてがんでなくなってしまうリリー。そんなリリーが星となって母アーサーのもとに帰ってきて、アーサーを夢の中へ誘い、リリーや家族と過ごした日々の思い出をなぞってゆくファンタジー作品です。このお話は娘への母の後悔や悲しみといった感情を描いてるのではなく、平凡で幸せな日常を再び夢で体現して「ありがとう」と感謝を伝える、とても温かく、この先も自分の家族や友人を大切にしていきたいと思える切なくも優しい一作となっております。高校生になって家族という時間が減ってしまった人は、もっと家族といろんな時間を過ごしていきたいと思ってしまうでしょう。



『月とコーヒー』 吉田篤弘 徳間書店

この本は全 24 篇の物語でできていて、1篇 10～20 ページくらいの短い物語が一つにまとまった本です。どの物語もふんわりしていて優しいファンタジー作品で、寝る前に読むのにうってつけの本だと思います。一つ一つの物語はすべてがはっきりと説明されているわけではないので、読んでいる人が物語の続きやキャラクターの気持ちを考えたりできるのもこの本の魅力なのではないかと思います。僕のおすすめのお話は「1125」という物語で、1125 という数字を手がかりに、ある出来事や記憶がつながっていくといったお話です。他にもレイン・キャンディや地球儀の回る夜、空を飛べなかった男など、面白いお話でいっぱいです。



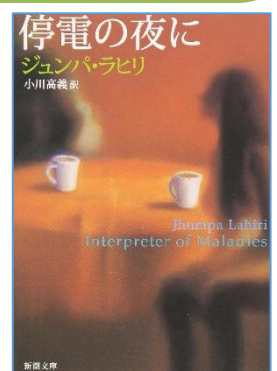
『星の王子さま』 サン＝テグジュペリ 新潮社

私は、『星の王子さま』を読んで、目に見えるものだけで人や物の大切さを判断してはいけなかったと感じた。王子さまとキツネの出会いの場面から、時間をかけて相手と関わることで、特別な存在になるということを学んだ。私はこれから普段の学校生活で、友達と過ごす時間を当たり前だと思わず、大切に過ごしていこうと思った。人との関わり、人とのつながりを考えさせられる本だった。



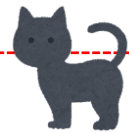
『停電の夜に』 新潮社 ジュンパ・ラヒリ

『停電の夜に』を読んで、普段は話せないことでも、環境が変わることで素直に話せるようになることがあると知った。私は特に、停電によって夫婦が暗い部屋で過ごし、お互いに秘密を打ち明けていく場面が印象に残った。自分の気持ちを伝えることが大切さを教えてくれる本だった。





読書週間「10/27～11/9」



終戦まもない1947年（昭和22）年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回「読書週間」が開催されました。翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

読書週間期間中、図書館にて Number・今日の料理ビギナーズ・ダヴィンチ・Newton のバックナンバープレゼント抽選を実施！図書館へGO！



新着図書紹介

図書館前にて展示中！
借りに来てね！

2.43 清陰高校男子バレー部 代表決定戦編 1.2: 壁井ユカコ
月がきれいな夜に、誰かに思い出してほしかった: 川代紗生
部下としての AI: 世界一エンジニアの進化術: 牛尾剛
栄養士・管理栄養士ってこんな仕事しています: 油井陽
管理栄養士・栄養士になるには: 平井明日菜
なぜあなたの感想はふつうなのか: 大島育宙
これは経費で落ちません! 14: 青木祐子



夏帆: 村上春樹
楽園: 夕木春央
BUTTER: 柚木麻子
永遠の記憶: 東野圭吾
ハヤブサ消防団 [2]: 池井戸潤
急に具合が悪くなる: 宮野真生子



受験対策に！



シュンスケのたった9時間で公共・政治・経済: シュンスケ

佐藤のたった8時間で歴史総合: 佐藤幸夫

上野のたった8時間で地理探究 世界地誌: 上野将

上野のたった8時間で地理探究 系統地理: 上野将

岡本のたった4時間で漢文読解: 岡本梨奈

坂田のたった6時間で化学基礎: 坂田薫

POP コンテスト開催！

TAKANAKI WEEK 期間中に POP コンテストを開催します！
展示してある POP の中から気に入ったものに投票してください。
たくさんの投票をお待ちしております！(^^)！

